

# 勝馬に 勝ち馬に乗れ

塾生は準備せよ



今年に入り株価は 1万円台を安定して保ち、景気も緩やかな上昇傾向にある。

しかしながら、イラク自衛隊派遣によるテロの不安や、円高による輸出関連企業の懸念、BSE問題、鳥インフルエンザなど外食産業に与える影響は大きく、消費者の生活の不安を考えると先行きは不透明である。混沌とした時代を生き抜くために、経営者に求められるものは何か。挑戦と決断を焦点にお話を伺った。

## 挑戦と決断

塾主の定義する「決定と決断の違い」とは何か。決定とは、すでに情報がある上で判断し決めること。これに対して決断は、情報に欠落した部分があっても意志決定すること。自らの意志で、判らない部分に臆せず判断するのが決断である。

「昔は情報などなかった。誰も教えてくれなかった」と塾主。常にご自身の五感を働かせて決断し会社を運営されてきた。

見えない明日へ手探りで進む中小企業では、会社と個人が重なり、経営者である我々に全ての責任がかかる。決断力がいかに重要かは言うまでもない。

「決断力を高めるには高い志を持つこと、そして思ったら実行する。知行合一ですよ。そして学び続けて五感を磨き高めないかいないですね」と、塾での教えを改めて強調される。

「エネルギーがいる、怖い、リスクが伴う」など様々な理由で多くの経営者は挑戦しない。挑戦しないから自らが成長しない。経営者の決断がないから会社は大きくなれない。

「考えても駄目、まず行動。考えているだけでは前に進まない。実行することが経営です。だから、必要だと思うものが目の前にある時に飛びつかなければ、それを掴むことはできません。その為には、小さな決断をすることから始めなさい。最初は、ぶざまな飛び方でも、練習すれば上手に飛べるようになる」。失敗したらすぐに向きを変える。その為にも、決断する練習が必要であることを語られた。

## 塾生は準備せよ

今後、日本は名古屋から変わるという。名古屋は地理的に日本の中心に位置し、製造業出荷額 26年間トップである。日本が世界的にリードしている商品は、政府からの保護を受けなかったから生まれた。武士のような精神を持って、世界で戦うことができたから強くなったと塾主は分析される。

現在名古屋には、国際的に勝っているものがありながら、東京、大阪に次ぐ三番目の都市と見られている。しかし、今後は24時間発着が可能な新空港の開港で、中部地区は活性化することが予想される。空港関連の仕事や施設で新たな産業が生まれ、雇用の発生は必至。観光客の増加や、トヨタ本社機能の一部が東京から名古屋駅前に移転する中、駅前の地下街や施設では、飲食関係ははじめ消費の傾向や勢いも大きく変わるだろう。

「名古屋の活性化に向けて塾生は準備せよ。勝ち馬に乗れ」と檄を飛ばされる塾主。

日本の経済が混迷を深める中、中部地区の上空においては、今間違いなくフォローの風が吹いている。その風を見極め味方にするには、五感を磨き、勇気を持って挑戦する事だと教えて頂いた。

(2塾 鈴木大也)



「感謝の会」

開催のご案内

期日: 平成 16年 4月 13日(火)

場所: ウェスティンナゴヤキャッスル